

海軍八尺坑 鑛業施業案

昭和十五年十月十七日認可
三五福通炭業認第三三號



認 可 書

35年通商産業法第 373 号

昭和 35.10.19 日

福岡県 名称 機置録用 1278 号
社記 115

口 吉 氏 記
紅 葉 花 画
社 記 書 者 天 島 四 郎 殿

鉱業法第六十三条第二項の規定により 昭和 35 年 8 月
マ 日附申請された日 吉 氏 鉱業海軍へ氏 記 社 記 権に
関する協業案は之を認可する

福岡通商産業局長 川 瀬 健 治



海軍八尺銃藥證藥案



共同石炭飲藥株式会社
日吉飲藥



35.10.17

変更追加款項追加承認可申請書

昭和三十五年八月 八日

福岡県建設部第一二七八番

款項摘要 共同石炭款項追加承認

有代表取締役 入 交

款項代理人 大 島

監 査

福岡県建設部長

川 村 時 郎



当款項において諸般中の諸般八尺故について、別紙変更理由により変更追加諸般とした
ので款項追加六十三条の規定により関係書類および説明図を添えて申請致します。



昭和三十五年八月八日

福岡県福岡市登録第一二七八号

依頼者 共同石炭炭産株式

依頼代理人 矢島

四

依頼地 炭産改良理由書

昭和廿六年一月廿日付ニ五福通商第二五四号により認可の御覧八尺坑掘進案を次の理由により変更追加します。

「既認可区域の深部区域（才田川新層と山田川新層の間）において、ボーリングを実施した結果、土間八尺層、海軍八尺層の二炭層の賦存を確認したので深部区域（面積六六四一四平方米）の深部を追加します。

該坑は既設の二〇F巻揚機を杉谷二尺坑と併用しているため深部移行に伴う掘進能力の低下を補う上から巻揚機の新設を必要とし、現在の坑口では地形上設置ができないので、巻揚機新設による坑口の変更と、これに伴つて本即坑道の切替へをします。



竹 藪 坑 △昭和廿二年七月廿四日認可
 三二番通炭原第三〇二号
 杉谷二尺坑 △昭和 廿一年一月廿二日認可
 二九番通炭原第三〇八号
 一 坑 △昭和廿四年七月廿八日認可
 三四番通炭原第三二六号
 大 谷 坑 △昭和廿六年十月五日認可
 二六番炭原第一八八号
 海軍八尺坑 △昭和廿六年一月廿日認可
 二五番通炭原第二五四号
 大谷野天坑 △昭和廿六年一月廿日認可
 二五番通炭原第二五四号
 本多田屋天坑 △昭和廿六年一月廿日認可
 二五番通炭原第二五四号
 三 坑 △昭和廿六年一月廿日認可
 二五番通炭原第二五四号
 野添野天坑 △昭和廿三年四月廿八日禁止炭
 五〇番通炭原第二五五号
 才田野天坑 △昭和廿一年六月廿七日認可
 二一番通炭原第一七九号
 竹 藪 坑 △昭和廿四年三月廿日認可
 三四番通炭原第三六号

昭和廿五年八月 日 追加炭原審判中

採掘權に關する炭原審判(追加、変更)

東京部中央区銀座七丁目五番地
 炭原審判 共同石炭炭原株式会社
 右代表取締役 入 交 太
 炭原代理人 矢 島 四

「炭区」の所在地および面積

福岡県志摩郡、稲佐町、山田市、地内

面積 採炭第一二七八号 一八〇ハール (炭原審判炭区地)

採炭 六一四号 四二三四ハール

採掘權の登録番号

福岡県炭原審判第一二七八号

炭山および石炭坑の名称

日吉炭坑 海軍八尺坑

目的とする鉱物の名称

石

炭

採炭または採炭に關する事項

地質の狀態

該地区は約第三紀炭層で全層厚四二〇米に及び炭層は下部より大體、本層、竹谷の三炭層群が賦存し各層間は頁岩、砂質頁岩、礫岩で構成されている。

主なる層層は該区の中央を南北に走る湖上五五米の山田川新層と西部に湖沼五二〇米の才田川新層、東部に湖上五五米の日吉新層がいずれも南北に走っている。

主要な炭層の位置、走向、傾斜および厚さ

採炭層は本層群中の土間八尺層、海軍八尺層で該区の西部に水準上五〇米に距離し水準以下二五〇米に賦存する。

走向は概ね三〇度で北東に二〇度傾斜する。

ボーリング結果による炭層の厚さは左の如し。

炭層名	山	丈	炭	丈	進行山丈	進行炭丈
土間八尺層	一八〇	丈	一四二	丈	一八〇	一四二
海軍八尺層	一七六	一五八	一七六	一五八	一七六	一五八

採炭層および可採炭量

計							
石炭坑名	炭層名	炭丈	埋蔵炭層炭量	安全率	実収率	実収炭量	
海軍八尺坑	土間八尺層	一四二・三	一五二〇〇〇	七〇%	八〇%	八二〇〇〇	
海軍八尺坑	海軍八尺層	一三八	一四六〇〇〇	七〇	八〇	八二〇〇〇	
			二九八〇〇〇			一六七〇〇〇	

採炭の方法

海軍八尺坑は昭和十九年九月七日開始し昭和廿六年一月廿日付（二五）福道新製第二五四号）にて炭層新製の新可を受け操業中の石炭坑である。

本坑口は該区標第十八号より方位一〇五度〇五分一秒距離三八七米三三二（既開可施業中の該区標第十八号は標登一〇号の開採地区により消滅したので新該区標第十八



八号より給炭す。の位置にありこれより方位二三八度〇五分傾斜二五度にて本館坑道
 (加背二一六×二一六)を掘進水平巨眼四〇米の位置(一)より方位四二五度五分に
 右斜傾斜二六度水平巨眼一五〇米の位置(二)まで掘進してゐる。
 排気坑口は飯坂部第十八号より方位一〇四度五分二四秒巨眼三七〇米二三(距離
 可掘進)飯坂部第十八号は掘進一〇号の掘進部区により掘進したので新飯坂部第十八
 号より給炭す。の位置にあり本館と二五米の間隔で併行方向に加背二一六×二一六
 の排気坑道を水平巨眼一八八米の位置(三)まで掘進してゐる。
 (本館、排気部の設定)
 今次の追加掘進区域は既設可区域の才田川層(落盤二〇米)の南部区域で掘進炭層
 は土間八尺層、海軍八尺層の二炭層である。
 主要部の設定は本館坑道を既設の本館坑(一)より方位八八度〇分傾斜二五度にて加
 背二一六×二一六の岩石坑道を掘進、水平巨眼八〇米で海軍八尺層に掘進(四)する。
 掘進後は同一方向に傾斜二五度で右層掘進し水平巨眼一二五米で右層に掘進のため
 中止する。
 排気部は既設の排気部坑(二)より本館と併行方向に岩石坑道を掘進し傾斜二三度水
 平巨眼一一八米で海軍八尺層に掘進(五)する。
 掘進後は同一方向に右層掘進し傾斜一五度水平巨眼一二〇米で中止する。
 (坑口の変更)
 右側坑集合掘進部排気部坑第十八号の岩面(岩面)を掘進する。即ち飯坂部第十八号より方
 位一〇八度二八分二八秒水平巨眼二三米七六の位置に坑口を掘進しそれより方位四
 二五度五分傾斜二五度の岩石坑道(加背二一六×二一六)を掘進し既設の排気部と立
 体交叉して水平巨眼八〇米で既設の本館坑道に貫通させる。
 以上の方法により主要坑道を掘進し片側は五五米間隔に左側は一片より四片まで最
 大二七〇米最少一八〇米、右側は一片より四片までの最大二二〇米最少八〇米の各片
 を設定する。
 既設坑道は既設の位置より上部へ五五米の位置から一五四度三分の方向に水平岩
 石坑道を掘進し本館と立体交叉して巨眼四五米で海軍八尺層に掘進する。
 掘進後は右層で二五〇米掘進し上層排気坑道として、二片より三片を貫通し右側の
 通気系統を確立する。五五米掘進し右側の通気系統を確立する。五五米掘進し右側の
 掘進方法は昇降井式(昇降五五米)の最底段で奥掘し掘進順序としては第一次に坑
 道設定炭層である海軍八尺層の掘進を行い掘進終了後の坑口の安定状態をみて第二次



八号より給炭す。の位置にありこれより方位二三八度〇五分傾斜二五度にて本館坑道
 (加背二一六×二一六)を掘進水平巨眼四〇米の位置(一)より方位四二五度五分に
 右斜傾斜二六度水平巨眼一五〇米の位置(二)まで掘進してゐる。
 排気坑口は飯坂部第十八号より方位一〇四度五分二四秒巨眼三七〇米二三(距離
 可掘進)飯坂部第十八号は掘進一〇号の掘進部区により掘進したので新飯坂部第十八
 号より給炭す。の位置にあり本館と二五米の間隔で併行方向に加背二一六×二一六
 の排気坑道を水平巨眼一八八米の位置(三)まで掘進してゐる。
 (本館、排気部の設定)
 今次の追加掘進区域は既設可区域の才田川層(落盤二〇米)の南部区域で掘進炭層
 は土間八尺層、海軍八尺層の二炭層である。
 主要部の設定は本館坑道を既設の本館坑(一)より方位八八度〇分傾斜二五度にて加
 背二一六×二一六の岩石坑道を掘進、水平巨眼八〇米で海軍八尺層に掘進(四)する。
 掘進後は同一方向に傾斜二五度で右層掘進し水平巨眼一二五米で右層に掘進のため
 中止する。
 排気部は既設の排気部坑(二)より本館と併行方向に岩石坑道を掘進し傾斜二三度水
 平巨眼一一八米で海軍八尺層に掘進(五)する。
 掘進後は同一方向に右層掘進し傾斜一五度水平巨眼一二〇米で中止する。
 (坑口の変更)
 右側坑集合掘進部排気部坑第十八号の岩面(岩面)を掘進する。即ち飯坂部第十八号より方
 位一〇八度二八分二八秒水平巨眼二三米七六の位置に坑口を掘進しそれより方位四
 二五度五分傾斜二五度の岩石坑道(加背二一六×二一六)を掘進し既設の排気部と立
 体交叉して水平巨眼八〇米で既設の本館坑道に貫通させる。
 以上の方法により主要坑道を掘進し片側は五五米間隔に左側は一片より四片まで最
 大二七〇米最少一八〇米、右側は一片より四片までの最大二二〇米最少八〇米の各片
 を設定する。
 既設坑道は既設の位置より上部へ五五米の位置から一五四度三分の方向に水平岩
 石坑道を掘進し本館と立体交叉して巨眼四五米で海軍八尺層に掘進する。
 掘進後は右層で二五〇米掘進し上層排気坑道として、二片より三片を貫通し右側の
 通気系統を確立する。五五米掘進し右側の通気系統を確立する。五五米掘進し右側の
 掘進方法は昇降井式(昇降五五米)の最底段で奥掘し掘進順序としては第一次に坑
 道設定炭層である海軍八尺層の掘進を行い掘進終了後の坑口の安定状態をみて第二次

貯炭場は既設の貯炭設備（鉄筋コンクリート造り容量二〇一〇座）を利用し、捨石は杉谷二尺坑二〇〇ヤード場機から竹炭坑七五ヤード場機に中継帶掛けし竹炭坑便当場に搬打ちに搬送する。

掘削地は当社所有地の山林、原野地で周辺に民家公共施設はないから被害問題は起こらない。

何故内排水、水渠に対する地盤掘削に關する事項

坑内水の排水は既設の坑外排水溝を利用し、排水浮動を泥溜の上排水する。

水渠に対する被害は坑内においては排水設備をなしているので施設は別に必要としない。

付其の他

掘削区域の地盤は原野、山林で地上物は社有地、借用地で地上物件は殆んど当社所有に同じ箇所等に関する被害の紛争はない。

重復坑区または隣接坑区の鉱權権者との接觸に關する事項

本坑区は重復坑区で、竹谷、本屋群は共同石炭（日育）大屋群は渡辺種炭、久恒種炭に重復設定であるが層間二五〇米におよび傾度大なるため地盤上の調査事項はない。本申請区域は渡辺種炭に隣接するが地盤上の調査事項はない。

鑛業施業案添附圖

第一葉 鑛區圖 鑛 五十分一

第二葉 地質圖 〃 五十分一

第三葉 炭層柱狀圖 〃 五十分一

第四葉 炭量訪算圖 〃 三十分一

第五葉 採掘訪算圖 〃 三十分一

第十卷內 第三葉

炭層柱狀圖

縮尺五十分一



申請區域採掘炭層 繪尺: 1/50

縮尺: $\frac{1}{50}$

初等二尺坑直内より集めたる1号、2号ホ-リングの平均柱状圖

[illegible]

鐵索推者
謝鐵爐者
共阿石炭鐵索推六書
代表稅紳役
入交太
矢鳥四
鐵索代推人

申請區域性發展

A vertical ruler with markings from 0 to 40 inches. The markings are in inches, with major ticks every 10 inches (0, 10, 20, 30, 40) and minor ticks every 1 inch. The ruler is oriented vertically.

矢島四郎

共同石炭礦業株式會社

大會社



第 五 葉

採掘計畫圖



縮尺三千分一



海軍八尺坑

採掘計畫圖 縮尺三千分一

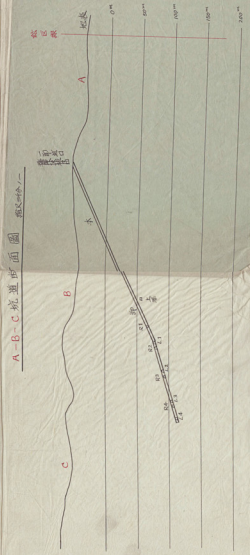
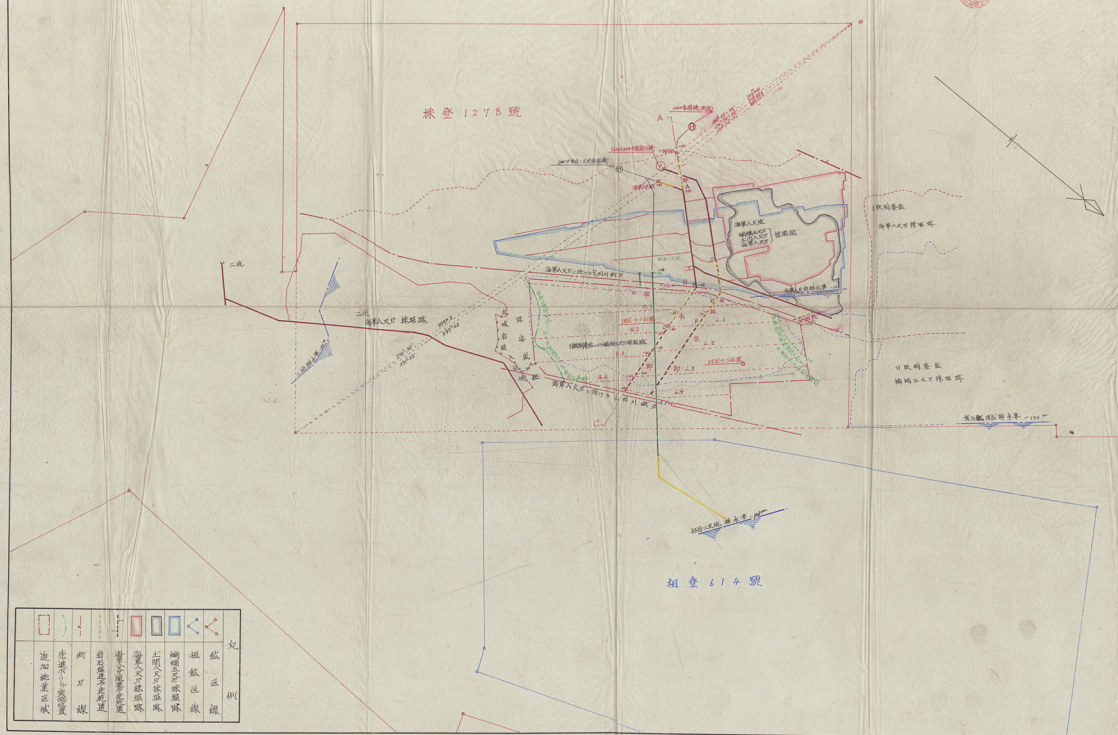
鐵業權者
租礦權者
代表取締役
鐵業代理人

代表取締役
兼代理人

大同石炭礦業株式會社

藏部 太四 交易 入笑

藏部 太四 文島 入矢



第十卷內 第二葉

地質圖

縮尺五千分一



地質圖

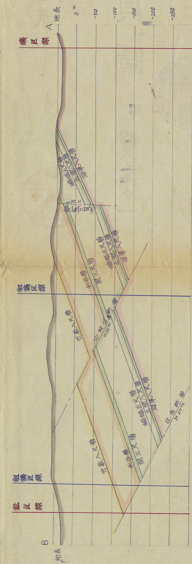
縮尺五千分、一

調査者 共同石灰質土株式会社
組織者 入交太蔵
代表取締役 大島四郎
調査代理人



凡 例	
○ 沖積層 第四紀層	
○ 上石炭層群	
○ 竹谷炭層群	
○ 本場上石炭層群 第三紀層	
○ 本場下石炭層群	
○ 大城炭層群	
／ 断 層 線	
／ 路 線 線	
／ 河 川	
／ 道 路	

B-A 断面圖 縮尺五千分、一



總代理
組長
代表
業務
代理人

大同石炭礦業株式會社

入交太炭
矢島四郎



炭量計算圖

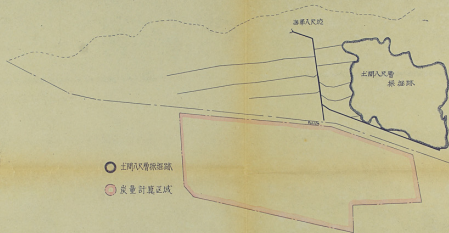
炭量計算表

(面積はフラスコに10計算)

炭層名	炭丈	比重	平面積	傾斜	傾斜率	炭厚	面積	理論埋炭量	完全率	實率	制炭率	實收炭量
主明八又層	1.43	1.5	66.419	20°	1064		70.678	152.000	70	80		85.000
海平八又層	1.38	1.5	66.419	20°	1064		70.678	146.000	70	80		82.000
計			132.838				141.356	298.000				167.000



主開八尺層 炭量計算圖 縮尺3000分=1



炭量計算表 (面積はアソニメーアによる計算)

炭層名	炭丈	比重	平面積	傾斜	傾斜率	炭发率	炭面積	理論炭重量	安全率	削減率	實収率	實収炭量
主開八尺層	143"	15	66.414	20°	1064		70.678	152.000	70%		80%	85.000
計			66.414				70.678	152.000				85.000

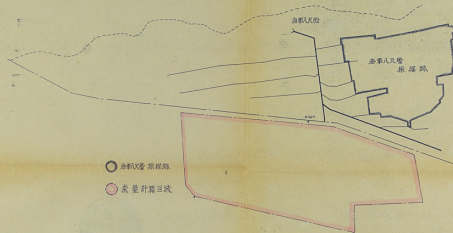
第十卷內 第四葉

炭量計算圖

續頁三十一



海軍八尺層 炭量計算圖 縮尺3000分の1



炭量計算表 (町域はアノニアに20行重)

炭層名	炭丈	比重	平面積	傾斜	傾斜率	炭厚	平面積	理論炭量	安全率	実収率	制収率	實収炭量
海軍八尺層	1.38	15	66.414	20°	1.024		70.678	146.000	70	80		82.000
計			66.414				70.678	146.000				82.000

第壹內第一葉

鑛
區



圖

縮尺五十分一





炭素在狀圖

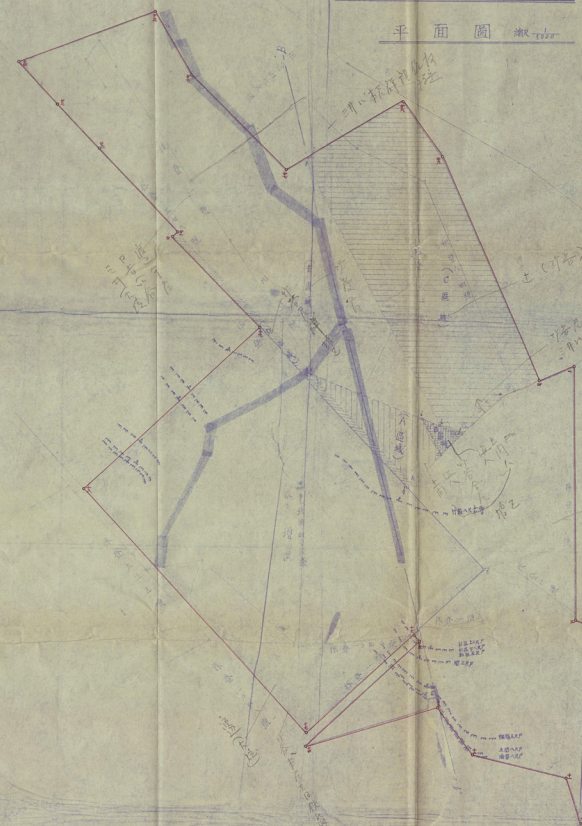
福岡縣採掘権登録第1278號

鑛業法第46條に依る

鑛床圖

平面圖 縮尺 $\frac{1}{1000}$

凶面完全



國

竹韻八式

100

東京縣中央區銀座二丁目五番地。
 代表取締役 入交 大造
 右代取締役 堀田 嘉雄
 右代理人 明石 友助



測量員の姓名		主 線		内 容	
姓名	職名	主 線	内 容	主 線	内 容
1	1	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
2	2	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
3	3	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
4	4	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
5	5	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
6	6	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
7	7	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
8	8	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
9	9	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
10	10	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
11	11	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
12	12	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
13	13	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
14	14	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
15	15	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
16	16	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
17	17	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
18	18	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
19	19	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
20	20	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
21	21	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
22	22	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
23	23	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
24	24	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
25	25	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
26	26	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
27	27	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
28	28	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
29	29	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
30	30	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
31	31	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
32	32	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
33	33	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
34	34	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
35	35	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
36	36	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
37	37	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
38	38	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
39	39	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
40	40	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
41	41	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
42	42	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
43	43	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
44	44	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
45	45	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
46	46	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
47	47	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
48	48	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
49	49	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
50	50	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
51	51	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
52	52	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
53	53	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
54	54	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
55	55	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
56	56	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
57	57	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
58	58	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
59	59	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
60	60	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
61	61	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
62	62	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
63	63	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
64	64	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
65	65	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
66	66	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
67	67	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
68	68	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
69	69	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
70	70	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
71	71	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
72	72	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
73	73	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
74	74	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
75	75	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
76	76	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
77	77	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
78	78	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
79	79	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
80	80	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
81	81	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
82	82	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
83	83	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
84	84	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
85	85	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
86	86	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
87	87	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
88	88	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
89	89	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
90	90	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
91	91	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
92	92	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
93	93	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
94	94	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
95	95	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
96	96	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
97	97	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
98	98	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
99	99	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
100	100	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000

[illegible]

	涅青	笑
	响	五
	然	烟
	疾	复
	砂	信
	夏	普
	砂	夏

福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭

鑛業株式会社

日吉鑛業所

電話 稲築四三〇番
大隈一一番

第五葉の丙 第六葉

石炭坑の範圍圖

續々三十分

第七葉

坑外圖

三十分

第八葉

採炭規格及坑道規格圖

三十分

第九葉

通気排水運搬系統圖

三十分

第十葉

選炭系統圖

第十一葉

水リキル古洞水の判定資料圖

第十葉の内 第六葉

石炭坑の範圍圖

續尺三千分一



海軍八尺坑

石炭坑の範圍圖

縮尺三十分の一

鐵業検査
組織検査

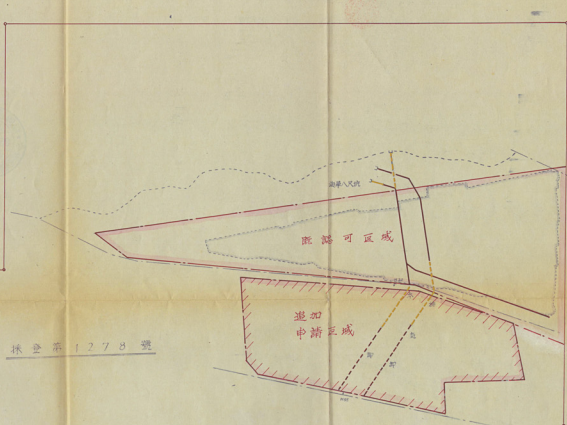
共同石炭鐵業株式會社

代表取締役

入交木藏

鐵業八尺八

矢野四郎



株登第 1278 號

租登第 614 號

				海
距離可区域	申請区域	距離可区域	鐵業八尺八	矢



第十一葉內第七葉

坑外圖

縮尺三十分一



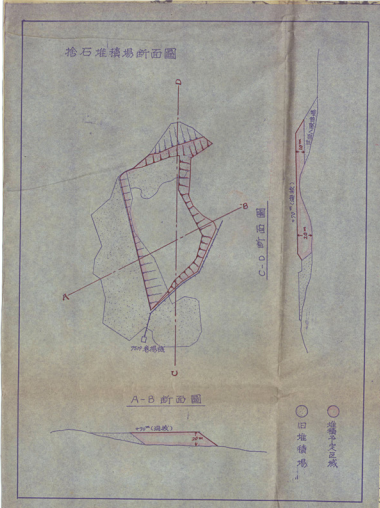
共同石炭鑛業株式會社
曰吉鑛業所

坑外圖

縮尺三千分の一

鑛業推者
租鑛権者
代表取締役
鑛業代理人

共同石炭鑛業株式會社
入交太藏
矢島四郎

[illegible]

共同石炭鑛業株式會社

坑外圖

縮尺三千分の一

代表取締役
共同石炭産業株式會社
社長 矢島 四郎

[illegible]

第十卷內 第九葉



通氣排水運搬系統圖

端長生



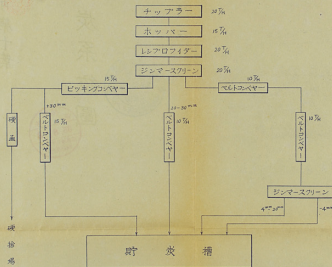
第十葉の内第十葉

選炭系統圖



選炭系統圖

礦業権者 共同石炭礦業株式會社
 組織者 入 矢 太 藏
 代表取締役 入 矢 島 四 郎
 礦務主任人



第十二葉の内第十二葉

ホーリングによる

古洞水の判定資料図



代表軍師使 入交 太 藏

鎮業代理人矢島四郎



(A) ボーリングス(断面図)

2. 占拠はエネルギー配位の平衡の2倍あり。この間、占拠の上位にある場合（占拠上位のエネルギー配位の下）100%の反応が起こることはないので、C 関の判別物は B 関の如く反応を繰り返した。

三才圖會

消費水と送水は消費15.1倍に

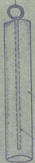
$$f(x) = \frac{1}{2} (x^2 + 1) \ln(x^2 + 1) - \frac{1}{2} x^2$$

新學入史記

車站^{1km} 距中 50^{km} 小竹筒

長+45^{mm} 重2.3^g 至2^{mm}の丸粒に自暴を蒙るもの

(C)₁ ← 針金 22針



長+45^{mm} 重2.3^g 至2^{mm}の丸粒に自暴を蒙るもの

福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭
鑛業株式会社

日吉鑛業所

電話 稲築四三〇番
大隈一一番

